

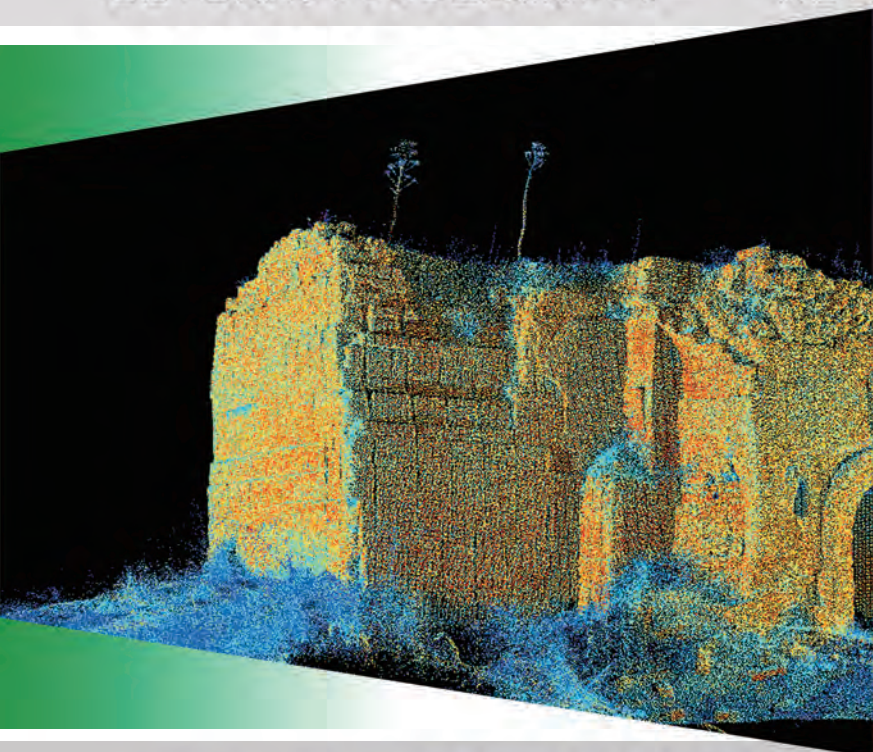
# 金沢大学フレスコ壁画研究センター 写真展 & 国際講演会

Centro  
Affresco

主催：金沢大学フレスコ壁画研究センター

共催：大塚国際美術館

後援：文化庁、石川県



基調講演 宮下孝晴  
(金沢大学人文学類教授、  
フレスコ壁画研究センター長)

対談 ウンベルト・ドナーティ  
(イタリア文化会館館長)

宮下孝晴



## フレスコ壁画の修復・復元・保存の最前線

デジタル・アーカイブ と セラミック・アーカイブ の 未来



洞窟教会に描かれた中世壁画に斜光線を照射

講演と対談： 2012年3月17日(土)13:00~16:00

(要予約)

文化遺産を後世に残すために保存科学や修復技術の進化発展は重要ですが、同時に「現状」を高精細で劣化のないデジタルデータとしてスキミングして記録する「デジタル・アーカイブ」の形成も忘れてはなりません。イタリア壁画の現状記録の最前線にある金沢大学フレスコ壁画研究センターの宮下孝晴教授の基調講演のあと、石の文化を代表するイタリアと木の文化を代表する日本の文化財保存に対する考え方の違いや将来の可能性、方向性についてイタリア文化会館館長のウンベルト・ドナーティ氏との対談も予定しています。

写真展： 2012年3月17日(土)~3月24日(土)10:00~16:00

金沢大学がイタリアの壁画に対して実施してきた修復、復元、調査、記録の様子を、現場で撮影された貴重な写真で綴ります。簡単には移動できない建造物に描かれたイタリアの壁画の修復と保存に取り組む金沢大学調査チームの姿と、国立フィレンツェ修復研究所との共同プロジェクトで得られた成果を多くの写真で紹介いたします。展示は二部構成で、第Ⅰ部はフィレンツェのサンタ・クローチェ教会大礼拝堂の壁画「聖十字架物語」修復プロジェクト(2004-2011)、第Ⅱ部は南イタリアの中世洞窟壁画群調査プロジェクト(2010~)です。

会場： しいのき迎賓館(金沢市広坂2-1-1)

3階 セミナールーム (無料)



洞窟教会内の空間を  
3Dスキャンしてデジタル記録

参加ご希望の方は、金沢大学フレスコ壁画研究センターホームページの専用フォーム、または官製はがきにお名前・ご住所・電話番号を記載し、2月末日までにお申し込みください。ただし定員(100名)に達し次第、締切といたします。

お申し込み・お問い合わせ：〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学人間社会研究域 フレスコ壁画研究センター

TEL:076-264-5550

ホームページは「フレスコ壁画」で検索してください。

フレスコ壁画

検索